

令和 4年度  
事業報告書

自：令和 4年 4月 1日  
至：令和 5年 3月31日

公益財団法人 靈山顕彰会

# 事業報告書

## I. 法人の概況

### 1. 設立年月日

昭和50年12月17日

### 2. 定款に定める目的

この法人は、霊山の歴史的風土を維持・保全し、明治維新において、先覚者がわが国の独立の確保と発展のために尽くした偉業に学ぶとともに、日本の風土にはぐくまれた精神文化の振興を図ることをもって目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- ① 霊山の歴史的風土の維持・保全に必要な事業の運営及び助成
- ② 霊山歴史館の管理運営
- ③ 日本における精神文化の振興に関する諸事業の運営
- ④ 前号に関する事業の普及啓蒙のための諸活動
- ⑤ 本会の目的の達成と、広く会員参加活動の推進を図るための講演会・研修会ならびに展覧会等の開催
- ⑥ 各種関係団体の行う文化活動に対する援助
- ⑦ この法人の事業の推進に資するため、明治維新に関連する、書籍・グッズ等の提供・講堂の貸出等の事業を行う
- ⑧ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4. 所官庁に関する事項

内閣府大臣官房 公益法人行政担当室

### 5. 会員の状況

種 類	当 期 末	前期末比増減
個人会員	417名	△ 13名
法人会員	164社	5社
特別法人会員	87社	0社

### 6. 主たる事務所・支部の状況

本 部 : 京都市東山区清閑寺霊山町1番地  
岐 阜 県 支 部 : 大垣市郭町2-25  
山 口 県 支 部 : 山口市中央5丁目2-31  
福 岡 県 支 部 : 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 (財)西日本文化協会内  
鹿 児 島 県 支 部 : 鹿児島県鹿児島市喜入町星和台604-109

7. 役員等に関する事項

< 理事・監事 >

役 職	氏 名	常勤・非常勤	担当職務・現 職
理 事 長	松下 正幸	非常勤	パナソニック ホールディングス(株) 特別顧問
常務理事	中島 幸男	非常勤	パナソニック ホールディングス(株) 客員
理 事	一居 多寿夫	非常勤	オムロン(株) 取締役室 担当部長
理 事	久村 剛史	非常勤	(株)ワコールホールディングス 社長室室長
理 事	頼 政忠	非常勤	頼法律事務所 弁護士
理 事	村山 明	非常勤	重要無形文化財保持者
理 事	新谷 秀一	非常勤	学校法人 二本松学院 理事長
理 事	篠崎 泰弘	非常勤	京セラ(株) 秘書室長
理 事	倉本 淳一	常 勤	パナソニック ホールディングス(株) 社員
監 事	荻堂 直樹	非常勤	おぎ堂会計事務所 所長
監 事	三木 隆	非常勤	(株)京都銀行 秘書室長

< 評議員 >

役 職	氏 名	担当職務・現 職
評 議 員	江里 敏明	彫刻家
評 議 員	鈴木 順也	NISSHA(株) 社長
評 議 員	納屋 嘉人	(株)淡交社 会長
評 議 員	平居 啓	(株)明星 監査役
評 議 員	岸本 康義	弁護士
評 議 員	今堀 均	ジョブラックス(株) 取締役会長
評 議 員	杭迫 晴司	書家
評 議 員	伊藤 之雄	京都大学 名誉教授

8. 職員に関する事項

職員の数	11 人	うち常勤	3 人
------	------	------	-----

## Ⅱ. 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

#### 【1】霊山の歴史的風土の維持保全に必要な事業の運営および助成

(1) 維新の祭神に対する碑前祭 10月14日

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、人数制限し斎行(13名)

(2) 龍馬祭 11月15日

- ・慰霊祭(京都高知県人会主催・新型コロナ感染防止のため、参加者は例年の6割程度)
- ・記念特別講演会(11月13日に新型コロナ感染防止のため、人数制限して実施。40名)  
「坂本龍馬殺害事件の実像」/木村課長

#### 【2】霊山歴史館の管理運営

(1) 入館状況: 新型コロナ感染防止策を講じ、開館

企画展	会 期	期 間	入館者	1日平均	前年比
会津藩主・松平容保と新選組	2022. 4. 1~2022. 5. 15	40日	5, 897名		
安政の大獄から鳥羽伏見の戦いまで	2022. 5. 18~2022. 9. 11	101日	11, 151名		
吉田松陰と松下村塾	2022. 9. 14~2022. 11. 6	46日	5, 763名		
龍馬と土佐勤王党	2022. 11. 9~2023. 1. 22	66日	6, 738名		
激動の160年前へ	2023. 1. 26~2023. 3. 31	57日	6, 554名		
合 計		310日	36, 103名	116名	134%

(2) 講演会の開催

- ・ 5月4日(祝・水) 新選組隊士の愛刀にみる 日本刀の基礎講座 参加者 39名
- ・ 6月4日(土) 初心者向け古文書教室～坂本龍馬の手紙を読もう 第二弾 参加者 35名
- ・ 7月2日(土) 河井継之助と北越戦争 参加者 39名
- ・ 8月6日(土) 夏休み子ども歴史教室「新選組の謎」 参加者 15名
- ・ 10月1日(土)・22日(土) 現地講座「東山の幕末史跡を巡る」 参加者 21名
- ・ 11月13日(日) 坂本龍馬殺害事件の実像 参加者 40名
- ・ 2月4日(土) ペリー来航170年 志士たちの見た黒船 参加者 24名

(3) 各種媒体での広報発信

- ・ 4月21日、9月20日 Panasonicブランド公式SNS～霊山歴史館紹介(5万人・6万人に配信)
- ・ 5月21日 BS11「偉人・素顔の履歴書」～木戸孝允(木村課長出演)
- ・ 6月6日 雑誌「刀剣画報」～霊山歴史館外観・館内(エントランス)紹介
- ・ 9月10日 ClubPanasonic「霊山歴史館オンラインミュージアム」(米澤学芸員出演)
- ・ 10月 京都市仮想旅行コンテンツ(メタバース)～霊山歴史館撮影～令和5年夏公開予定
- ・ 12月 7日 BS朝日「京都ぶらり歴史探訪」～坂本龍馬(木村課長出演)
- ・ 適宜 企画展情報掲載(朝日新聞夕刊「美術館・博物館」ほか新聞・情報誌・Web)

(4) ホームページ・SNSでの広報発信

- ・ ホームページ: 7月 「霊山歴史館付近お散歩マップ」掲載
- ・ SNS: 毎週木曜日(Facebook、Instagram、Twitter)、毎月1回(LINE)  
企画展・講演会・歴史館周辺の季節の話題などを発信

(5)学芸活動～本年度の取り組み

- ①WITHコロナの観点より、各種活動を再開、緩和
  - ・講演会参加人数上限50人に増員
  - ・現地講座再開(10月1日・22日、東山の幕末史跡)
  - ・博物館実習再開(8月23日～27日・3年ぶり)
- ②映画「峠～最後のサムライ」に連動した展示・映像・講演会を実施
- ③「新選組展2022」に資料貸出し(10点)
  - ・7月23日～9月19日 福島県立博物館
  - ・10月1日～11月27日、京都文化博物館

(6)霊山歴史館「友の会」活動状況 (会員数 471名／前年より223名減)

- ①友の会専用ページでの情報発信強化
  - ・直近に開催した講演会動画公開
  - ・今後の講演会先行予約
  - ・季節の話題
- ②入会促進チラシ配架(館内 情報発信コーナー)

**【3】特別法人会員の加入状況及び特別法人会員事業報告会**

令和4年3月末日現在	新規	退会・合併	令和5年3月末日現在
87社	2社	2社	87社

- ・特別法人会員名簿公開(館内パネルおよびホームページ)
- ・加入促進チラシ配架(館内 名簿パネル横)
  - 一般社団法人「志授業」推進協議会様加入
  - 光明電気株式会社様加入
- ・加入促進ページメンテ(ホームページ)

**【4】事業の普及啓蒙のための諸活動**

機関紙「維新の道」刊行

第184号	令和4年 4月 1日	2,850部
第185号	令和4年 7月 1日	2,850部
第186号	令和4年 10月 1日	2,850部
第187号	令和5年 1月 1日	2,850部

**【5】幕末、維新の史資料収集**

令和4年度 収集史資料 合計6点

- ・切り絵「ある日の龍馬」 1点
  - 6月30日、切り絵作家 百鬼丸氏より受贈
  - 11月9日～企画展「龍馬と土佐勤王党」より展示開始
- ・木戸孝允 直筆の手紙 3点
  - 9月14日～企画展「幕末京都動乱～安政の大獄から鳥羽伏見の戦いまで」より展示開始
- ・桐野利秋 直筆の手紙、桐野の忠僕・中村太郎の手紙 2点

## 【6】庶務事項

- |   |           |
|---|-----------|
| (1) 令和3年度、決算監査                              | 4月20日     |
| (2) 「令和3年度、事業活動と決算」に関して理事会の決議               | 5月25日     |
| (3) 「令和3年度、職務執行状況」に関して代表理事・業務執行理事による理事会への報告 | 5月25日     |
| (4) 「令和3年度、事業活動と決算」に関して評議員会の決議              | 6月15日     |
| (5) 「代表理事・業務執行理事選定」に関して臨時理事会の決議             | 6月15日     |
| (6) 博物館実習を受託(学芸員資格に必須) 参加:6校 6名             | 8月23日～27日 |

## < 支 部 活 動 >

### 【1】岐阜県支部 (個人会員：250名、法人会員：86社)

- |                      |  |                          |
|----------------------|--|--------------------------|
| (1) 令和4年度、幹事会        | 於、大垣共立銀行本店   | 4月5日                     |
| (2) 第33回 小品展         | コロナウィルス感染拡大防止のため中止                                     | 4月 (中止)                  |
| (3) 所郁太郎祭(赤坂町)       | コロナウィルス感染拡大防止のため中止<br>妙法寺にて法要(自治会のみ)                   | 4月9日(中止)                 |
| (4) 所郁太郎顕彰祭<br>(大野町) | コロナウィルス感染拡大防止のため中止                                     | 4月10日(中止)                |
| (5) 小原鉄心顕彰会総会        | 小原鉄心顕彰会総会 全昌寺  | 5月22日                    |
| (6) 梁川星巖研修会          | 華溪寺所蔵「梁川星巖漢詩鑑賞会」<br>梁川星巖掛け軸等未公開資料の展示<br>梁川星巖記念館にて特別展開催 | 5月28日<br>5月28日<br>～6月30日 |
| (7) 令和4年度支部総会        | 於、大垣市スイトピアセンター音楽堂                                      | 6月11日                    |

記念講演会 演題「梁川星巖の漢詩の魅力」 講師 木村正幹氏  
(元 大垣東高校教師 現 西尾高校 講師)  
著書「星巖と紅蘭」2021年9月発行

- |  |                          |           |
|--|--------------------------|-----------|
| (8) 「維新の道—岐阜」第41号  | 600部を発行し、会員及び<br>文教施設に配布 | 7月中旬      |
| (9) 「第165回忌 梁川星巖祭」   | 華溪寺 (地元曾根町民のみ参加)         | 10月2日     |
| (10) 第40回研修視察  | コロナウィルス感染拡大防止のため中止       | 10月 (中止)  |
| * 梁川星巖・紅蘭銘板披露式典 京都市左京区神宮丸太町駅前公園<br>星巖邸跡地及び銘板設置個所視察<br>霊山本部表敬、碑前祭 |                          | 10月6日     |
| (11) 霊山顕彰会事務局長会議   | 於、霊山顕彰会本部講堂              | 12月6日     |
| (12) 配布(法人会員)  | 法人会員等へ配布 (論語と算盤 洪沢栄一)    | 1月上旬      |
| (13) 常任役員会   | 次年度事業計画協議<br>於、大垣共立銀行本店  | 2月8日      |
| (14) 本部機関紙「維新の道」配布   | 各450部                    | 4・7・10・1月 |

### 【2】山口県支部 (個人会員：26名、法人会員：41社)

- |                   |  |           |
|-------------------|--|-----------|
| (1) 総会            | 於、かめ福オンプレイス  | 8月5日      |
| (2) 総会記念講演会       | 於、かめ福オンプレイス<br>演題「長州ファイブ～近代日本の基礎を築いた若者たち」<br>講師 防長史談会山口県本部山口県支部 支部長 松前 了嗣氏 | 8月5日      |
| (3) 本部機関紙「維新の道」配布 |  | 4・7・10・1月 |

**【3】福岡県支部** (個人会員：95名、法人会員：22社)

- (1)機関紙の発行 「回天の道」第76号 (500部) 7月  
本部機関紙「維新の道」配布 7月・12月
- (2)歴史講座の実施 6月11日(延6回)  
・講座名 「福岡地方史を訪ねて」  
近代と江戸時代福岡藩の基本的な知識を得る内容(近世)と二本立て  
で進める。令和3年度は明治・大正・昭和戦前期の玄洋社の活動へと  
繋がる歴史を学ぶ。  
講師 福岡地方史研究会会長 石瀧 豊美 先生  
場所 アクロス福岡セミナー室②・福岡市立早良市民センター他  
年6回 受講者:毎回35名前後
- (3)護国神社等における慰霊祭への参加  
① 福岡県護国神社関係慰霊祭への参列  
・秋季大祭参列 10月10日  
・みたままつり献灯提灯の協賛 8月13日～16日  
・墓前祭参列 9月20日  
② 靖國神社みたままつり献灯提灯の協賛 7月13日～16日  
③ 平野二郎國臣 生誕祭参列 3月25日
- (4)慰霊祭、研修旅行の実施 11月25日～26日  
・京都靈山福岡県招魂場にて慰霊祭及び研修旅行実施  
福岡招魂社・靈山歴史館→旧八木邸見学  
妙心寺→大將軍八神神社 拝観

**【4】鹿児島県支部** (個人会員：17名、法人会員：14社)

- (1)明治維新殉難志士・戊辰之役戦没者薩藩県外墓への祭祀供養料の送付。  
…… 京都から函館まで、16ヶ所
- (2)「明治維新 戊辰之役戦士者」鹿児島慰霊祭の実施。 9月 8日  
・鹿児島縣護国神社の公式参拝。
- (3)本会の趣旨普及のための諸活動。  
・明治維新の内容と意義の一層の周知に努める。  
・本部発行の「維新の道」の情報提供に努める。 4・7・10・1月

## 2. 重要な契約に関する事項

特になし

## 3. 役員会等に関する事項

令和4年 5月25日 理事会開催

<議事事項>

- ① 令和 3年度事業報告の件
- ② 令和 3年度決算承認の件
- ③ 顧問異動の件

上記議案が、原案通り可決されました。

令和 4年 6月15日 定時評議員会開催

<議事事項>

- ① 令和 3年度事業報告の件
- ② 令和 3年度事業決算の件

上記議案が、原案通り可決されました。

令和 4年 6月15日 臨時理事会開催

<議事事項>

- ① 代表理事・業務執行理事選定の件

上記議案が、原案通り可決されました。

令和 5年 3月15日 理事会開催

<議事事項>

- ① 令和 4年度事業並びに予算の中間執行状況報告の件
- ② 令和 5年度事業計画案の件
- ③ 令和 5年度収支予算案の件
- ④ 令和 5年度資金調達及び設備投資案の件
- ⑤ 顧問異動の件

上記議案が、原案通り可決されました。

## 4. 正味財産増減の状況並びに財産状況の推移

(単位:千円)

	平成31年 3月期	令和 2年 3月期	令和 3年 3月期	令和 4年 3月期	令和 5年 3月期
当期経常収益	121,722	96,490	81,812	54,272	62,499
当期経常費用	121,541	107,668	82,198	71,903	76,313
当期経常増減額	181	△ 11,178	△ 386	△ 17,631	△ 13,814
当期経常外収益	0	25	0	0	0
当期経常外費用	4,734	1,800	0	401	0
当期正味財産増減額	△ 4,553	△ 12,953	△ 386	△ 18,032	△ 13,814
資産合計	648,309	632,231	622,368	627,715	618,447
負債合計	7,994	11,608	8,871	8,989	9,482
正味財産	640,315	620,623	613,497	618,726	608,965

## 5. 事業報告の附属明細書に関する事項

事業報告の内容は補足する重要な事項がないため事業報告の附属明細書は作成していません。



# 正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	71,106	71,106	0
特定資産運用益	1,525,832	1,696,129	△ 170,297
受取会費	450,000	482,000	△ 32,000
	3,830,000	3,845,000	△ 15,000
	11,285,000	11,635,000	△ 350,000
事業収益	26,625,160	20,228,500	6,396,660
	1,900,000	700,000	1,200,000
	1,322,050	1,335,150	△ 13,100
	300,100	213,900	86,200
	4,666,070	3,171,660	1,494,410
	280,000	195,000	85,000
受取補助金等	50,000	140,000	△ 90,000
受取寄付金	2,265,000	2,268,000	△ 3,000
	5,947,159	6,739,265	△ 792,106
雑収益	710	78,784	△ 78,074
	1,981,049	1,472,713	508,336
<b>経常収益計</b>	<b>62,499,236</b>	<b>54,272,207</b>	<b>8,227,029</b>
(2) 経常費用			
事業費(人件費)	25,342,069	24,274,369	1,067,700
	459,450	390,000	69,450
	1,881,784	1,888,320	△ 6,536
事業費	1,905,945	1,989,829	△ 83,884
	0	0	0
	304,472	349,298	△ 44,826
	8,360	62,040	△ 53,680
	260,000	290,000	△ 30,000
	4,173,202	4,162,265	10,937
	167,200	142,032	25,168
	0	0	0
	0	0	0
	132,000	132,000	0
	660,000	751,850	△ 91,850
	2,808,857	2,031,473	777,384
	877,000	0	877,000
事業費(管理費)	212,707	6,000	206,707
	41,000	54,000	△ 13,000
	487,957	589,468	△ 101,511
	15,213,132	16,069,184	△ 856,052
	859,346	1,042,158	△ 182,812
	1,277,100	1,174,030	103,070
	2,411,853	2,509,572	△ 97,719
	3,948,188	2,979,256	968,932
	425,210	482,297	△ 57,087
	861,137	866,367	△ 5,230
	205,000	155,000	50,000
	1,968,000	1,385,400	582,600
	2,199,184	2,254,920	△ 55,736
管理費(人件費)	3,676,604	2,744,736	931,868
	10,800	0	10,800
	59,867	6,709	53,158
管理費(管理費)	137,500	82,500	55,000
	766,123	543,366	222,757
	191,110	92,900	98,210
	454,306	455,495	△ 1,189
	316,048	247,179	68,869
	72,222	103,242	△ 31,020
	0	193,490	△ 193,490
	126,939	77,615	49,324
	228,379	156,068	72,311
	2,734	1,807	927
	11,683	7,023	4,660
	66,400	66,400	0
	1,670	12,854	△ 11,184
	1,101,197	1,080,808	20,389
<b>経常費用計</b>	<b>76,313,735</b>	<b>71,903,320</b>	<b>4,410,415</b>
評価損益調整前当期増減額	△ 13,814,499	△ 17,631,113	3,816,614
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 13,814,499</b>	<b>△ 17,631,113</b>	<b>3,816,614</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
什器備品売却益	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	400,699	△ 400,699
災害損失	0	0	0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>400,699</b>	<b>△ 400,699</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>△ 400,699</b>	<b>400,699</b>
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 13,814,499	△ 18,031,812	4,217,313
他会計振替額	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 13,814,499</b>	<b>△ 18,031,812</b>	<b>4,217,313</b>
一般正味財産期首残高	515,643,933	533,875,745	△ 18,031,812
一般正味財産期末残高	501,829,434	515,643,933	△ 13,814,499
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	10,000,000	30,000,000	△ 20,000,000
一般正味財産への振替額	△ 5,947,159	△ 6,739,265	792,106
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>4,052,841</b>	<b>23,260,735</b>	<b>△ 19,207,894</b>
指定正味財産期首残高	103,082,346	79,821,611	23,260,735
指定正味財産期末残高	107,135,187	103,082,346	4,052,841
<b>III 正味財産期末残高</b>			
正味財産期末残高	608,964,621	618,726,279	△ 9,761,658

# 正味財産増減計算書内訳表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	歴史的風土の維持保全	歴史館の管理・運営	精神文化の振興	共 通	小 計	書籍・グッズの販売	講堂の貸出	共 通	小 計			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>												
<b>1. 経常増減の部</b>												
(1) 経常収益												
基本財産運用益				71,106	71,106				0		0	71,106
特定資産運用益				1,525,832	1,525,832				0		0	1,525,832
受取会費				225,000	225,000				0	225,000	0	450,000
法人会費				1,915,000	1,915,000				0	1,915,000	0	3,830,000
特別法人会費				5,642,500	5,642,500				0	5,642,500	0	11,285,000
事業収益		26,625,160			26,625,160				0	0	0	26,625,160
講堂使用料収益					0		1,900,000		1,900,000	0	0	1,900,000
友の会会費			1,322,050		1,322,050				0	0	0	1,322,050
維新教養講座			300,100		300,100				0	0	0	300,100
物販収益					0	4,666,070			4,666,070	0	0	4,666,070
史料貸出収益					280,000				0	0	0	280,000
受取補助金等	50,000		280,000		50,000				0	0	0	50,000
受取寄付金	215,000	2,050,000			2,265,000				0	0	0	2,265,000
指定財産振替	5,288,263		301,994		5,590,257	137,270	82,362		219,632	137,270	0	5,947,159
雑収益				21	21				0	689	0	710
雑収益	30,000	1,000,000	853,000		1,883,000				0	88,049	0	1,981,049
<b>経常収益計</b>	<b>285,000</b>	<b>35,243,423</b>	<b>2,777,144</b>	<b>9,379,459</b>	<b>47,695,026</b>	<b>4,803,340</b>	<b>1,982,362</b>	<b>0</b>	<b>6,785,702</b>	<b>8,018,508</b>	<b>0</b>	<b>62,499,236</b>
(2) 経常費用												
事業費(人件費)	406,204	15,302,047	7,599,586		23,307,837	1,794,803	239,429		2,034,232	0	0	25,342,069
退職給付費用	18,113	249,750	162,674		430,537	28,913	0		28,913	0	0	459,450
福利厚生費	64,399	1,010,400	676,172		1,750,971	127,673	3,140		130,813	0	0	1,881,784
事業費			1,905,945		1,905,945				0	0	0	1,905,945
調査研究費					0				0	0	0	0
広報費		194,692	109,780		304,472				0	0	0	304,472
会員増強費				8,360	8,360				0	0	0	8,360
一般助成費			260,000		260,000				0	0	0	260,000
登山保全費	1,588,202	2,117,500	247,500		3,953,202	137,500	82,500		220,000	0	0	4,173,202
展示費		167,200			167,200				0	0	0	167,200
展示品借用料					0				0	0	0	0
展示品運送費					0				0	0	0	0
館藏品補修費		132,000			132,000				0	0	0	132,000
製作印刷費		660,000			660,000				0	0	0	660,000
販売物購入費					0	2,808,857			2,808,857	0	0	2,808,857
友の会活動費			877,000		877,000				0	0	0	877,000
事業費(管理費)	14,827	197,880			212,707				0	0	0	212,707
旅費交通費	35,000	6,000			41,000				0	0	0	41,000
通信運搬費	2,715	127,510	323,525	11,508	465,258	20,789	1,910		22,699	0	0	487,957
減価償却費		14,363,872	459,815		14,823,687	179,368	210,077		389,445	0	0	15,213,132
消耗品費	7,361	657,606	153,893		818,860	35,754	4,732		40,486	0	0	859,346
修繕費		1,277,100			1,277,100				0	0	0	1,277,100
施設警備管理費	25,388	1,954,870	228,491		2,208,749	126,940	76,164		203,104	0	0	2,411,853
光熱水料費	42,998	3,171,810	401,404		3,616,212	214,307	117,669		331,976	0	0	3,948,188
賃借料	351	418,715	4,213		423,279	1,705	226		1,931	0	0	425,210
保険料	2,337	819,076	21,030		842,443	11,684	7,010		18,694	0	0	861,137
諸会費		205,000			205,000				0	0	0	205,000
租税公課		1,474,746	68,522		1,543,268	318,444	106,288		424,732	0	0	1,968,000
雑費	22,285	1,797,420	204,376		2,024,081	111,243	63,860		175,103	0	0	2,199,184
管理費(人件費)					0				3,676,604	0	0	3,676,604
退職給付費用					0				10,800	0	0	10,800
福利厚生費					0				59,867	0	0	59,867
管理費(管理費)					0				137,500	0	0	137,500
会議費					0				766,123	0	0	766,123
旅費交通費					0				191,110	0	0	191,110
通信運搬費					0				454,306	0	0	454,306
減価償却費					0				316,048	0	0	316,048
消耗品費					0				72,222	0	0	72,222
修繕費					0				0	0	0	0
施設警備管理費					0				126,939	0	0	126,939
光熱水料費					0				228,379	0	0	228,379
賃借料					0				2,734	0	0	2,734
保険料					0				11,683	0	0	11,683
諸会費					0				66,400	0	0	66,400
租税公課					0				1,670	0	0	1,670
雑費					0				1,101,197	0	0	1,101,197
<b>経常費用計</b>	<b>2,230,180</b>	<b>46,101,314</b>	<b>13,907,806</b>	<b>19,888</b>	<b>62,259,188</b>	<b>5,917,980</b>	<b>913,005</b>	<b>0</b>	<b>6,830,985</b>	<b>7,223,582</b>	<b>0</b>	<b>76,313,735</b>
<b>評価損益調整前当期増減額</b>	<b>△ 1,935,180</b>	<b>△ 10,857,891</b>	<b>△ 11,130,662</b>	<b>9,359,591</b>	<b>△ 14,564,142</b>	<b>△ 1,114,640</b>	<b>1,069,357</b>	<b>0</b>	<b>△ 45,283</b>	<b>794,926</b>	<b>0</b>	<b>△ 13,814,499</b>
評価損益等計					0				0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 1,935,180</b>	<b>△ 10,857,891</b>	<b>△ 11,130,662</b>	<b>9,359,591</b>	<b>△ 14,564,142</b>	<b>△ 1,114,640</b>	<b>1,069,357</b>	<b>0</b>	<b>△ 45,283</b>	<b>794,926</b>	<b>0</b>	<b>△ 13,814,499</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>												
(1) 経常外収益												
什器備品売却益					0				0	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用												
固定資産除却損					0				0	0	0	0
災害損失					0				0	0	0	0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>他会計振替前当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 1,935,180</b>	<b>△ 10,857,891</b>	<b>△ 11,130,662</b>	<b>9,359,591</b>	<b>△ 14,564,142</b>	<b>△ 1,114,640</b>	<b>1,069,357</b>	<b>0</b>	<b>△ 45,283</b>	<b>794,926</b>	<b>0</b>	<b>△ 13,814,499</b>
他会計振替額					0				0	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 1,935,180</b>	<b>△ 10,857,891</b>	<b>△ 11,130,662</b>	<b>9,359,591</b>	<b>△ 14,564,142</b>	<b>△ 1,114,640</b>	<b>1,069,357</b>	<b>0</b>	<b>△ 45,283</b>	<b>794,926</b>	<b>0</b>	<b>△ 13,814,499</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>					<b>421,311,883</b>				<b>51,743,392</b>	<b>42,588,658</b>	<b>0</b>	<b>515,643,933</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>					<b>406,747,741</b>				<b>51,698,109</b>	<b>43,383,584</b>	<b>0</b>	<b>501,829,434</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>												
受取寄付金					10,000,000				0	0	0	10,000,000
一般正味財産への振替額					△ 5,590,257				△ 219,632	△ 137,270	0	△ 5,947,159
<b>当期指定正味財産増減額</b>					<b>4,409,743</b>				<b>△ 219,632</b>	<b>△ 137,270</b>	<b>0</b>	<b>4,052,841</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>					<b>102,725,444</b>				<b>219,632</b>	<b>137,270</b>	<b>0</b>	<b>103,082,346</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>					<b>107,135,187</b>				<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>107,135,187</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>					<b>513,882,928</b>				<b>51,698,109</b>	<b>43,383,584</b>	<b>0</b>	<b>608,964,621</b>

# 貸 借 対 照 表

( 令和 5 年 3 月 3 1 日現在 )

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現 金	458,171	357,181	100,990
郵 便 振 替 口 座	1,900,484	1,502,658	397,826
普 通 預 金	18,431,833	24,412,447	△ 5,980,614
定 期 預 金	2,003,476	2,403,463	△ 399,987
有 価 証 券	0	0	0
棚 卸 資 産	4,101,757	4,370,117	△ 268,360
未 収 入 金	162,000	164,474	△ 2,474
前 払 金	269,589	0	269,589
<b>【 流 動 資 産 合 計 】</b>	<b>27,327,310</b>	<b>33,210,340</b>	<b>△ 5,883,030</b>
2. 固定資産			
基本財産			
投 資 有 価 証 券 等	42,905,751	42,960,645	△ 54,894
建 物	260,182,850	260,182,850	0
構 築 物	4,042,500	4,042,500	0
館 蔵 品	91,720,827	91,720,827	0
減 価 償 却 累 計 額	△ 206,604,859	△ 200,375,047	△ 6,229,812
<b>【 基 本 財 産 合 計 】</b>	<b>192,247,069</b>	<b>198,531,775</b>	<b>△ 6,284,706</b>
特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	5,474,750	5,004,500	470,250
減 価 償 却 引 当 資 産	333,691,400	336,234,960	△ 2,543,560
基 本 金 引 当 資 産	10,000,000	0	10,000,000
<b>【 特 定 資 産 合 計 】</b>	<b>349,166,150</b>	<b>341,239,460</b>	<b>7,926,690</b>
その他固定資産			
建 物	45,561,240	45,561,240	0
建 物 附 属 設 備	74,303,030	70,365,030	3,938,000
構 築 物	5,759,640	5,759,640	0
什 器 備 品	144,311,433	143,977,473	333,960
減 価 償 却 累 計 額	△ 220,229,087	△ 210,929,719	△ 9,299,368
<b>【 そ の 他 固 定 資 産 合 計 】</b>	<b>49,706,256</b>	<b>54,733,664</b>	<b>△ 5,027,408</b>
<b>【 固 定 資 産 合 計 】</b>	<b>591,119,475</b>	<b>594,504,899</b>	<b>△ 3,385,424</b>
<b>【 資 産 合 計 】</b>	<b>618,446,785</b>	<b>627,715,239</b>	<b>△ 9,268,454</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未 払 費 用	1,270,394	1,141,620	128,774
前 受 金	0	3,000	△ 3,000
預 り 金	111,120	94,890	16,230
賞 与 引 当 金	1,590,000	1,570,000	20,000
<b>【 流 動 負 債 合 計 】</b>	<b>2,971,514</b>	<b>2,809,510</b>	<b>162,004</b>
2. 固定負債			
長 期 前 受 金	1,035,900	1,174,950	△ 139,050
退 職 給 付 引 当 金	5,474,750	5,004,500	470,250
<b>【 固 定 負 債 合 計 】</b>	<b>6,510,650</b>	<b>6,179,450</b>	<b>331,200</b>
<b>【 負 債 合 計 】</b>	<b>9,482,164</b>	<b>8,988,960</b>	<b>493,204</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
<b>【 指 定 正 味 財 産 合 計 】</b>	<b>107,135,187</b>	<b>103,082,346</b>	<b>4,052,841</b>
2. 一般正味財産			
<b>【 一 般 正 味 財 産 】</b>	<b>501,829,434</b>	<b>515,643,933</b>	<b>△ 13,814,499</b>
<b>【 正 味 財 産 合 計 】</b>	<b>608,964,621</b>	<b>618,726,279</b>	<b>△ 9,761,658</b>
<b>【 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 】</b>	<b>618,446,785</b>	<b>627,715,239</b>	<b>△ 9,268,454</b>

# 貸借対照表内訳表

(令和 5年 3月 31日現在)

(単位:円)

科 目	公益目的 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引等 消 去	合 計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現 金	440,790		17,381		458,171
郵便振替口座	1,721,748		178,736		1,900,484
普通預金	887,014	635,194	16,909,625		18,431,833
定期預金			2,003,476		2,003,476
棚卸資産		4,101,757			4,101,757
未収入金	162,000				162,000
前払金	269,589				269,589
公益目的会計貸付金		28,000,000	10,000,000	△ 38,000,000	0
<b>【流動資産合計】</b>	<b>3,481,141</b>	<b>32,736,951</b>	<b>29,109,218</b>	<b>△ 38,000,000</b>	<b>27,327,310</b>
2. 固定資産					
基本財産					
投資有価証券等	42,905,751				42,905,751
建物	233,920,185	16,161,640	10,101,025		260,182,850
構築物	4,042,500				4,042,500
館蔵品	91,720,827				91,720,827
減価償却累計額	△ 182,196,955	△ 15,020,245	△ 9,387,659		△ 206,604,859
<b>【基本財産合計】</b>	<b>190,392,308</b>	<b>1,141,395</b>	<b>713,366</b>	<b>0</b>	<b>192,247,069</b>
特定資産					
退職給付引当資産	4,829,675	450,076	194,999		5,474,750
減価償却引当資産	304,508,999	16,836,722	12,345,679		333,691,400
基本金引当資産	10,000,000				10,000,000
<b>【特定資産合計】</b>	<b>319,338,674</b>	<b>17,286,798</b>	<b>12,540,678</b>	<b>0</b>	<b>349,166,150</b>
その他固定資産					
建物	41,542,782	2,118,270	1,900,188		45,561,240
建物附属設備	70,893,950	2,869,080	540,000		74,303,030
構築物	5,759,640				5,759,640
什器備品	139,123,215	1,219,958	3,968,260		144,311,433
減価償却累計額	△ 210,093,813	△ 5,116,267	△ 5,019,007		△ 220,229,087
<b>【その他固定資産合計】</b>	<b>47,225,774</b>	<b>1,091,041</b>	<b>1,389,441</b>	<b>0</b>	<b>49,706,256</b>
<b>【固定資産合計】</b>	<b>556,956,756</b>	<b>19,519,234</b>	<b>14,643,485</b>	<b>0</b>	<b>591,119,475</b>
<b>【資産合計】</b>	<b>560,437,897</b>	<b>52,256,185</b>	<b>43,752,703</b>	<b>△ 38,000,000</b>	<b>618,446,785</b>
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払費用	1,270,394				1,270,394
前受金					0
預り金			111,120		111,120
賞与引当金	1,419,000	108,000	63,000		1,590,000
収益事業等会計借入金	28,000,000			△ 28,000,000	0
法人会計借入金	10,000,000			△ 10,000,000	0
<b>【流動負債合計】</b>	<b>40,689,394</b>	<b>108,000</b>	<b>174,120</b>	<b>△ 38,000,000</b>	<b>2,971,514</b>
2. 固定負債					
長期前受金	1,035,900				1,035,900
退職給付引当金	4,829,675	450,076	194,999		5,474,750
<b>【固定負債合計】</b>	<b>5,865,575</b>	<b>450,076</b>	<b>194,999</b>	<b>0</b>	<b>6,510,650</b>
<b>【負債合計】</b>	<b>46,554,969</b>	<b>558,076</b>	<b>369,119</b>	<b>△ 38,000,000</b>	<b>9,482,164</b>
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産					
<b>【指定正味財産合計】</b>	<b>107,135,187</b>				<b>107,135,187</b>
2. 一般正味財産					
<b>【一般正味財産】</b>	<b>406,747,741</b>	<b>51,698,109</b>	<b>43,383,584</b>		<b>501,829,434</b>
<b>【正味財産合計】</b>	<b>513,882,928</b>	<b>51,698,109</b>	<b>43,383,584</b>	<b>0</b>	<b>608,964,621</b>
<b>【負債及び正味財産合計】</b>	<b>560,437,897</b>	<b>52,256,185</b>	<b>43,752,703</b>	<b>△ 38,000,000</b>	<b>618,446,785</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

1. 満期保有目的の債券……………償却原価法(定額法)によっている。
2. 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券・時価のないもの……………移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法による算定)によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物・建物付属設備・構築物及び什器備品……………定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金……………職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付の自己都合退職要支給額に相当する金額を計上している。  
賞与引当金……………職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券等	42,960,645		54,894	42,905,751
建 物	63,588,882		6,167,342	57,421,540
構 築 物	261,421		62,470	198,951
館 蔵 品	91,720,827			91,720,827
小 計	198,531,775	0	6,284,706	192,247,069
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	5,004,500	470,250		5,474,750
減価償却引当資産	336,234,960		2,543,560	333,691,400
基本金引当資産	0	10,000,000	0	10,000,000
小 計	341,239,460	10,470,250	2,543,560	349,166,150
合 計	539,771,235	10,470,250	8,828,266	541,413,219

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券等	42,905,751	(20,000,000)	(22,905,751)	
建築物	57,421,540	(46,936,238)	(10,485,302)	
構築物	198,951	(198,951)		
館蔵品	91,720,827		(91,720,827)	
小計	192,247,069	(67,135,189)	(125,111,880)	
特定資産				
退職給付引当資産	5,474,750			(5,474,750)
減価償却引当資産	333,691,400	(30,000,000)	(303,691,400)	
基本金引当資産	10,000,000	(10,000,000)		
小計	349,166,150	(40,000,000)	(303,691,400)	(5,474,750)
合計	541,413,219	(107,135,189)	(428,803,280)	(5,474,750)

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

	帳簿価格	時価	評価損益
国債(169回)	42,905,751	38,461,626	△ 4,444,125
ソフトバンク社債(55回)	200,022,000	199,286,000	△ 736,000
三井住友FG社債	50,000,000	49,235,000	△ 765,000
合計	292,927,751	286,982,626	△ 5,945,125

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上での記載区分
助成金						
地方公共団体助成金	大垣市文化連盟	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
合計		0	50,000	50,000	0	

## 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
当期減価償却費計上による振替額	5,947,159
合 計	5,947,159

## 7. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△ 5,474,750
②退職給付引当金	△ 5,474,750

### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	470,250
②退職給付費用	470,250

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

## 8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引は無い。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載済

### 2. 引当金の明細

(単位: 円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,570,000	1,590,000	1,570,000		1,590,000
退職給付引当金	5,004,500	470,250			5,474,750



# 財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
<b>(流動資産)</b>					
現金					
	(本部)	手元保管	運転資金として	440,790	
(福岡県支部)	手元保管		14,256		
(鹿児島県支部)	手元保管		3,125		
	現金合計		458,171		
郵便振替口座					
	(本部)	ゆうちょ銀行大阪貯金事務センター	運転資金として	1,721,748	
	(山口県支部)	ゆうちょ銀行広島貯金事務センター		53,551	
	(福岡県支部)	ゆうちょ銀行福岡貯金事務センター		124,635	
	(鹿児島県支部)	ゆうちょ銀行福岡貯金事務センター		550	
		郵便振替口座合計		1,900,484	
普通預金					
	(本部)	京都銀行本店営業部		1,498,737	
		三井住友銀行京都支店		8,907,299	
		三菱UFJ銀行京都支店		1,883,137	
		三菱UFJ銀行京都中央支店		998,404	
		りそな銀行京都支店		209,071	
		みずほ銀行京都支店		372,124	
		住友信託銀行京都支店	運転資金として	1,083,931	
		滋賀銀行京都支店		565,661	
		京都信用金庫本店		1,325,689	
	(岐阜県支部)	大垣共立銀行本店営業部		1,087,601	
	(山口県支部)	山口銀行山口支店		267,411	
		西京銀行山口支店		20,260	
	(福岡県支部)	福岡銀行本店営業部		58,984	
		西日本シティ銀行本店営業部		132,637	
	(鹿児島県支部)	南日本銀行本店営業部		20,887	
		普通預金合計		18,431,833	
	定期預金				
		(岐阜県支部)	大垣共立銀行本店営業部		500,000
		(福岡県支部)	西日本シティ銀行渡辺通支店	運転資金として	1,003,476
(山口県支部)		西京銀行山口支店		500,000	
	定期預金合計		2,003,476		
棚卸資産					
	(本部)	歴史館手元保管	書籍グッズ販売事業に供する書籍・グッズ等。	4,101,757	
未収入金					
	(本部)	日本創造教育研究所	講堂使用料の請求。	150,000	
	(福岡県支部)	個人会員(13名)	個人会費の未収分。	12,000	
		未収入金合計		162,000	
前払金					
	(本部)	野村證券(株)京都支店	第一55回ソフトバンク社債 経過利息	269,589	
<b>流動資産合計</b>			<b>27,327,310</b>		
<b>(固定資産)</b>					
基本財産	投資有価証券等				
		(本部)	第169回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を歴史館管理	42,905,751
			野村証券(株)京都支店	運営事業の財源として使用している。	
	建物				
		(本部)	建物 1573.61㎡ 2階建	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	210,232,850
			京都市東山区清閑寺霊山町1番地	の施設として使用している。	
			エレベータ設置工事		25,920,000
			屋外トイレ改修工事		17,732,882
			応接トイレ改修工事		6,297,118
			建物合計		260,182,850

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
	減価償却累計額 (本部)	基本財産・建物	建物に関する減価償却累計額	△ 202,761,310	
特定資産	構築物 (本部)	京都市東山区清閑寺霊山町1番地			
		メインモニュメント(大理石造・台のみ)	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	1,119,000	
		館名碑	の施設・構築物として使用している。	2,600,000	
		歴史館門柱、門扉		323,500	
		構築物合計		4,042,500	
	減価償却累計額 (本部)	基本財産・構築物	構築物に関する減価償却累計額	△ 3,843,549	
	館蔵品 (本部)	京都市東山区清閑寺霊山町1番地	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業に	91,720,827	
		書籍「明治維新資料」	供している不可欠特定財産である。		
		その他 幕末・維新資料・模型 (基本財産合計)		192,247,069	
	退職給付引当資産 (本部)	定期預金	常勤職員3名に対する退職金の支払いに備えた	5,474,750	
		京都銀行本店営業部	積立資産として管理されている預金。		
	減価償却引当資産 (本部)	普通預金			
		三井住友銀行京都支店	歴史館管理運営事業の積立資産であり、資産取得	3,669,400	
		定期預金	資金として管理されている債権。		
		三井住友銀行京都支店	満期保有目的で保有し、運用益を歴史館管理運営	50,000,000	
		京都銀行本店営業部	事業等の財源として使用している。	30,000,000	
		債券			
		第55回ソフトバンク社債(野村証券)		200,022,000	
		三井住友FG社債(SMBC日興証券)		50,000,000	
		減価償却引当資産合計		333,691,400	
		基本金引当資産 (本部)	普通預金		
	三井住友銀行京都支店			10,000,000	
(特定資産合計)			349,166,150		
その他 固定資産	建物 (本部)	京都市東山区清閑寺霊山町1番地			
		屋外便所 30.75㎡		10,683,802	
		厨房室	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	1,900,188	
		講堂改修 設計監理・内装工事	の施設として使用している。	9,628,500	
		講堂身障者用トイレ		6,279,000	
		歴史館展示室改修 内装工事		14,824,000	
		歴史館展示室改修 1階空調室扉		672,000	
		歴史館展示室改修 階段手摺		655,000	
		屋外便所改修工事(資本支出)		918,750	
		建物合計		45,561,240	
		減価償却累計額 (本部)	その他固定資産・建物	建物に関する減価償却累計額	△ 36,053,293
		建物附属設備 (本部)	京都市東山区清閑寺霊山町1番地		
			パイプシャッター 歴史館玄関設置		973,000
			軽量シャッター 歴史館2階展示場 8基	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	4,848,000
	歴史館物置 塗装・電気工事一式		の設備として使用している。	975,100	
	講堂改修			9,114,000	
	歴史館照明器具増設			771,750	
	歴史館展示室改修 入口自動ドア			1,914,000	
	歴史館改修 電気設備			14,141,000	
	歴史館改修 空調換気設備			1,530,000	
歴史館改修 1階撮影コーナー間仕切			609,000		
歴史館改修 映像ルーム換気・電気工事		308,700			
	冷暖房設備工事一式		5,344,500		

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	歴史館排気ファン改修工事(資本支出)		513,030
	屋外排水管改修工事(資本支出)		413,000
	来館者用トイレ改修工事(資本支出)	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	1,176,000
	歴史館プラズマTV用電源工事	の設備として使用している。	355,950
	屋外トイレ改修建築工事(内装・外装)		3,025,931
	屋外トイレ衛生設備工事(便器脱着他)		717,293
	屋外トイレ照明設備工事		1,454,976
	屋外トイレ通路整備工事(屋根・階段)		1,316,050
	屋外トイレ通路外灯照明工事		840,550
	給水ポンプ更新		1,128,600
	消火ポンプ更新		1,571,400
	高圧受電盤更新		4,644,000
	変圧器更新		3,456,000
	空調設備更新		9,223,200
	中量電動シャッター設置工事		3,938,000
	建物附属設備合計		74,303,030
	減価償却累計額 (本部)	その他固定資産・建物附属設備	建物附属設備に関する減価償却累計額
構築物 (本部)	京都市東山区清閑寺霊山町1番地		
	駐車場	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	914,640
	外部スロープ設備	の設備として使用している。	4,025,000
	灯籠設置工事一式		820,000
	構築物合計		5,759,640
減価償却累計額 (本部)	その他固定資産・構築物	構築物に関する減価償却累計額	△ 5,280,137
什器備品 (本部)	京都市東山区清閑寺霊山町1番地		
	コーナーベンチ、2セット		96,000
	手荷物収容戸棚、受付		436,500
	売店ケース、1ケース		181,800
	陳列ケース、4ケース		2,112,000
	アンプセット、講堂		305,300
	システムキッチン、事務室		129,000
	講堂カーテン 二重式		2,037,000
	2階展示/パッキン間仕切	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	530,250
	講堂AVシステム	の什器備品として使用している。	2,058,000
	講堂通路吊戸棚		903,000
	展示小ケース 防犯加工、1ケース		280,350
	SVS掲示板		798,000
	エアコン CS-P140TF、1セット		729,120
	歴史館錦絵展示枠		388,500
	歴史館壁面電照看板		367,500
	デジタル走馬灯		4,725,000
	スクリーン		1,229,000
	シンボルビデオ		1,136,000
	志士墳墓パネル		588,000
	幕末維新パネル		1,092,000
	事件解説パネル		1,029,000
	人物日本史パネル		924,000
	志士墳墓パネルPC検索システム		2,020,000
	学習コーナーPC検索システム		3,791,000
	人物検索システム		3,315,000
	実録池田屋事件映像システム		3,730,000
	簡易データベース		1,268,000

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	歴史館内監視システム		1,962,000
	等身大人物像		663,000
	導線看板		350,000
	エントランス映像		5,145,000
	歴史館展示ケース エアタイト		15,225,000
	正面アクリル展示ケース		330,750
	地デジWBDレコーダー		148,000
	歴史館映像ルームハイビジョンBD・スピーカー		215,824
	ネットワークカメラシステム		538,125
	フルハイビジョンPDP一式		969,675
	AED一式		175,270
	LEDライト組込展示台、2台		514,500
	エントランス映像用プロジェクター		924,000
	エアコン設備一式(CS-509VB2-W)		269,850
	電子紙芝居他検索システム		349,650
	篤姫撮影ボード	公益目的保有財産であり、歴史館管理運営事業	252,000
	歴史館受付レジスター、1台	の什器備品として使用している。	587,265
	人物検索システム、PC一式		294,000
	Let's note/パソコン、1台		254,100
	フルハイビジョンPDP、85型一式		2,467,500
	電話設備工事一式		451,280
	歴史館2F模型アクリルカバー		351,750
	応接室エアコン設備一式、2台		336,000
	総務用パソコン、1台		179,550
	Let's note/パソコン、2台		472,500
	エントランス展示台		525,000
	フルハイビジョンPDP、103型2台		10,189,557
	プラスマテレビ、65型他3台		1,954,229
	歴史館展示ケース エアタイト		17,771,565
	咸臨丸、模型アクリルカバー		229,950
	DEL/パソコン、1台		175,745
	Let's note/パソコン、3台		556,500
	パソコン、HP8300、2台		216,300
	歴史館展示ケース、2台(ガラス製)		934,200
	幕末クロロジ、パネル製作設置		582,660
	Let's note/パソコン、1台		210,380
	講堂プロジェクター設置		318,600
	歴史館デンシレジスター		140,400
	Let's note/パソコン、1台		221,180
	施工型展示ハイケース(歴史館1階)		13,668,914
	施工型展示ハイケース(歴史館2階)		25,719,384
	防盜金庫		627,000
	ノートPCレッツノートパソコン、1台		310,000
	ノートPCレッツノートPC、1台		333,960
	什器備品合計		144,311,433
減価償却累計額 (本部)	その他固定資産・什器備品	什器備品に関する減価償却累計額	△ 123,921,806
	(その他固定資産合計)		49,706,256
固定資産合計			591,119,475
資産合計			618,446,785

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動負債)	未払費用 (本部)				
		東山税務署	令和4年度消費税納付額	1,104,000	
		京都市市税事務所	令和4年度法人市民税納付額	50,000	
		京都地方税機構	令和4年度法人府民税納付額	20,000	
		京都労働局	令和4年度雇用保険料	1,603	
		NTTファイナンス(株)	3月度電話料	12,472	
		(株)高島屋	3月度理事会お土産代	32,319	
		京都霊山護国神社	福岡招魂社修復費用一部負担金	50,000	
		未払費用合計		1,270,394	
	預り金 (本部)				
		東山税務署	職員、会計事務所の源泉徴収所得税の預り分。		111,120
賞与引当金 (本部)					
	職員に対するもの	職員10名に対する賞与の支払いに備えたもの。		1,590,000	
流動負債合計				2,971,514	
(固定負債)	長期前受金 (本部)				
		友の会会員よりの会費前受額	友の会会員よりの会費前受け分。	1,035,900	
	退職給付引当金 (本部)				
		職員に対するもの	常勤職員3名に対する退職金の支払いに備えたもの。		5,474,750
固定負債合計				6,510,650	
負債合計				9,482,164	
正味財産				608,964,621	